



No.015

能登北部地域医療研究所

のとげんだより



2014. 1.1



研修医 & 医学生からの挨拶

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、金沢医科大学能登北部地域医療研究所のスタッフの皆さんはじめ、公立穴水総合病院・穴水町役場・住民の皆様にご地域医療研修で大変お世話になり心から感謝申し上げます。

昨年、地域医療研修の一か月で私が学んだことは「やさしさ」だったように思います。医療は、病院に来る患者に対して行う行為だと思い込んでいた私は、患者が生活を営む一人の人間であることをとすると考えなくなっていました。しかし、医療というのは、一人の人が人生を送るために必要な一つの手段であるということ、患者は地域で暮らす一人の住民であるということ思い出しました。

毎週の訪問看護や訪問診療へ同席し、医師や看護師が患者とするあたたかな会話を聞き、穴水の田んぼや山や湾の風景を見ながら、どんな人なのだろう、どんな生活を誰と送っているのだろう？と自然と考えるようになっていました。

大学病院等での研修は医療の最先端の技術を学ぶためにとても大切なことだと思います。一方、地域医療での醍醐味は、患者を診たとき、その人が生きている生活空間、生活の流れ、それらが思い描かれることではないかと思います。そして、それが見えてきた時、医師の提供する医療は、やさしい心遣いにつながるのだと思います。

穴水総合病院の皆様、いつも暖かく見守ってくださりまして、ありがとうございました。そして、能登北部地域医療研究所の皆様には、私たちを一番に考え、本当に細やかなところまでお心遣い頂きました。中橋先生の地域医療に取り組む後姿は、私にとって、忘れられないものとなりました。

その上、優しい二人の同期に恵まれ、一緒に観光に行き、とっても楽しかったです！心に今も描ける穴水の風景を忘れず、これからの医師としての歩みを進めたいと思います。「能登はやさしや土までも・・・」かけがえのない経験をさせていただき、本当にどうもありがとうございました。

平成25年 初期臨床研修医(地域医療研修研修者)一覧 2013. 4. 1~12. 31



中澤佑介 (氷見市民病院) 4月



松浦寿一 (金医大病院) 5月



小島 舞 (東大病院) 6月



林 秀幸 (大阪医療セ) 6月



中村貴宏 (金医大病院) 6月



河合宇吉郎 (金医大病院) 7月



小豆澤定史 (金沢医療セ) 7月



道上洋二 (金医大病院) 8月



山根心（大阪医療七）9月



西田翔一（金医大病院）9月



三浦聖子（金医大病院）9・10月



久保幸美（金医大病院）10月



堀内美令（大阪医療七）11月



木村明恵（大阪医療七）12月



三軒龍昌（氷見病院）12月

平成25年 早期臨床体験実習・学外臨床実習 医学生一覧

金沢医科大学医学部学生(1年生) G1 2013.5.14~5.15 / G2 2013.5.16~5.17



川井田裕介



澤田雄騎



岩下真穂子



露口直樹



堀川 悠



田中めぐみ



西垣綾子

自治医科大学医学部学生(第6学年:古村芳樹) 2013.4.8~4.12



古村芳樹

金沢医科大学医学部学生(6年生) G1 2013.7.16~7.19



MA8-0063 池永 仁



MA8-0300 熊井 理美



MA8-0532 遠武 孝章



MA8-0702 藤坂 悠司

米国金沢医科大学交換留学生

●University of Vermont (Burlington, VT 05405.USA)

研修日 2013.4.9



Shohei Ikoma



Beatrice Jarrass

